KAKEHASHI かけはし KAKEHASHI かけはし 2013 Sep. vol.12

YMCAバザー

<Y・外のフェスティバル 2013>

毎年恒例のYわいフェスティバル・YMCA バザーが今年も 11月16日(土) に行われます。恒例の韓国食品市、掘り出 し市(献品市)、古本市、日本語学校学生による民族料理屋台、 韓国の民族音楽演奏、東京・ソウル往復航空券が当たる大抽 選会など盛りだくさんの内容です。

バザーの収益は、日本語学校留学生の奨学金や多文化共生 をめざす諸団体の活動への支援、東日本大震災被災地復興支 援のために捧げられます。

現在、掘り出し市や古本市で販売する献品を受け付けてい ます。また当日および前日にお手伝いいただくボランティアも 募集しています。ご協力いただける方は、YMCA スタッフまで ご連絡ください。



| 2013年8月までのその他の活動

|建国大学で学ぶ韓国語 2013 夏



7月28日から8月3日の日程で、今年 で三回目となる韓国語講座の「建国大 学で学ぶ韓国語」がソウル・建国大学言 語教育院で行われました。

一年から二年ほど日本で韓国語を勉 強したことがある方を対象に行われる本 プログラムは、現地で暮らしながら、韓国

語で韓国語の授業をうけるというものです。授業後は自由に過ごした り、建国大学の学生との交流会、キムチ作りなどのアクティビティももり だくさんでした。学んだ韓国語を実際に使うことで、これからも楽しく韓 国語に触れていこうというモチベーションが上がりました。

【韓民芸科 ガーデンパーティー



関西韓国YMCA 韓国民俗芸術科の 1 学期最終日の7 月13 日、恒例のガー デンパーティーがYMCA 会館玄関前 で行われ、メンバーとその家族、旧メン バー、ゲスト、スタッフ、総勢31名が賑 やかに楽しく交流しました。

まずは頃合いに焼けたバーベキューでお腹を満たし冷えた ビールで喉を潤しながら歓談、そして先生からのお話に続きメン バーたちは順に先生へのお礼と1 学期の評価、2 学期の目標を 発表、その後は思い出の歌、得意な歌を次々にノレチャラン、最後 は習ったことを忘れずに2学期も頑張りましょうとの助教の言葉 で締めくくり、後片付けをして散会となりました。





バザーより:東日本大震災復興支援コーナー

バザーより:美しいカヤグムの演奏

たくさんのご参加をお待ちしております!

東日本大震災救援・復興募金継続実施中

まもなく発生から2年6ヶ月を迎える東日本大震災の被災地 支援を目的として「YMCA東日本大震災救援・復興募金」も 引き続き受付けております。

募金の送り先

窓口持参または郵便振替で下記にご送金ください。 (「東日本大震災募金」とご記入下さい)。

00190-4-539049 在日本韓国 YMCA

今後の予定 2013年9月~11月

【東京韓国YMCA】

- 9/2 (月)関東大震災第90 周年記念 追悼合同早天礼拝
- 9/24 (火)第2 回会員活動委員会
- 10/10 (木)日本語学校10 月期入学始業式
- 10/18 (金)~29 (火)パレスチナ・オリーブ収穫プログラム
- 11/11 (月)第230 回教界指導者朝餐祈祷会
- 11/14 (木)YMCA/YWCA 合同祈祷会
- 11/16 (土)Y わいフェスティバル2013 •YMCA バザー

【関西韓国YMCA】

- 9/2 (月)第2 回創立40 周年記念事業委員会
- 9/13(金) 第111 回 YMCA 教界指導者早天祈祷会 / 合同拡大委 員会 / 2013 年度第3 回関西韓国YMCA 理事会
- 9/14(土)第2回 韓国料理講習会
- 9/21 (土)第8 回「このゆびとーまれ」講演会
- 10/5 (土) 枚方多文化フェスティバル(岡東中央公園)
- 10/8 (火)日本語教室 秋学期開講
- 10/19 (土)つながりスポーツ大会(地活協)
- 11/22 (金)~24 (日)南北コリアと日本の友だち大阪展

YMCA 東京日本語学校学生募集中

- ●済州島のきれいな海で泳いで大いにリフレッシュしました。この平和できれ いな海を守るために、私たちがなすべきことはたくさんあります!(た)
- ●韓国に帰って大学時代の先輩後輩の集まりに参加しました。いつ会っても分 かち合える「仲間」って本当に宝!と実感したひと時でした。(朴)
- ●エアコンの無い夏、日本の夏。私は扇風機で風邪を引きました。(白)
- ●今回取材ついでに近くの日帰り温泉に寄り、「あかすり」を初体験・・・もういい です。(才)
- ●3年に1度開催されている瀬戸内国際芸術祭へ行ってきました。アートに触 れ、人に出会い、心豊かになった旅でした。(U)

KAKEHASHI かけはし 2013 Sep. vol.12

発行人: 金秀男 発行: 在日本韓国YMCAアジア青少年センター 〒 101-0064 東京都千代田区猿楽町 2-5-5 YMCA

TEL: 03-3233-0611 FAX: 03-3233-0633 http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/ ayc@ymcajapan.org

『かけはし』次号は**2013年12月**発行予定です。

mca Facebook : Korean YMCA in Japan より良い紙面づくりのために、ご意見・ご感想等お寄せください 2013 Sep. vol.12



在日本韓国YMCA YMCA アジア青少年センター

Korean YMCA in Japan Asia Youth Center



関東大震災と在日本韓国YMCA

田附和久(YMCAスタッフ)

ここに掲載するのは、1923年9月1日に発生した関東大震災で 焼失してしまった東京朝鮮YMCA(現在の在日本韓国YMCA)会 館の跡地に集まった当時のYMCA会員たちの写真です。よく知ら れている通り、関東大震災発生後、朝鮮人が放火、襲撃、井戸への 毒薬投下を行ったなどという流言飛語(デマ)が拡散し、それを信 じた軍や日本人民衆によって、何の罪もない朝鮮人が数多く虐殺 されましたが、ここに写る人たちも危ういところで命拾いをしてい ます。



地震発生後、YMCAの幹事や会館に住んでいた寄宿舎生たち は焼失した会館を後にして、いったんは長崎村、現在の豊島区)に あった崔承萬幹事の自宅に移動しましたが、そこから板橋警察 署に強制的に連行され、その後一ヶ月余りをそこで過ごすことに なりました。崔承萬氏は回想録において、長崎村への移動途中で 武器を用意した在郷軍人と自警団に胡散臭い目つきで見つめら れたこと、自らが警察官と同じ自動車に乗っていたにもかかわらず 「朝鮮人を降ろせ」、「われわれに引き渡せ」と騒ぐ群衆によって何 十回も引きずり出されそうになったこと、さらには拘留されていた 警察署内で危うく群集の襲撃を受けそうになったことなどを書き 残しています。

九死に一生を得た会員たちは、震災発生からおよそ一ヶ月後、 他団体の留学生たちと共同で同胞たちの虐殺の実態調査に着手 しました。しかし調査を直接名乗ることは許されず、「罹災同胞慰 問班」の名称が用いられました。調査は日本の官憲による隠蔽工 作に妨げられたため、正確な実態を明らかにするのはたいへん 困難だったようです。しかしそれにもかかわらず、地域ごとの詳細 な調査結果を積み重ね、合計で約六千六百名という被虐殺者数 をはじきだした最終報告は、政府等による正式な調査が当時もそ の後も一切行われていないため、ほぼ唯一の調査報告としてたい へん貴重なものとなっています。

【2面へ続く】

金柄鎬 牧師(キム・ビョンホ / 在日大韓基督教調布教会)

今日の日本は平和な時期を過ごしているかも知れないが、日 本が「幸せだ」と言っているその影にはどんなに苦しんでいる 国々、人々がいるかをおぼえなければならない。日本は自然環境 が素晴らしいと言われるが、かつては環境汚染の問題が深刻で あった。その解決策として工場をよその国に移したが、その国々の 環境はどうなったのか。今日日本人が享受する平和は間違ったも のであると申し上げたい(Pax Japana)。

聖書での平和はヘブライ語で「シャローム」と言う。「シャロー ム」は、単純に「戦争のない状態」のみを表す狭い意味の言葉で はなく、もっと包括的な意味がある。解りやすくたとえれば、聖書の 創世紀にあるエデンの園が「シャローム」の状態である。そこでは ①神と人間の間、②人間と人間の間、③人間と自然環境がそれぞ れ平和であった。

しかし、人間が罪を犯したのでこの「シャローム」の平和は壊さ れてしまった。その結果、①人間は神に罰を受け、エデンの園から 追い出され、②人間同士は憎み合い、殺し合い、③人間は自然を 破壊し、自然は人間を破壊することになった。

人間が犯した罪によって壊された「シャローム」は回復できる のだろうか。旧約聖書のイザヤ書11:6 -9 にはこのように予言さ れている。

「狼は小羊と共に宿り/豹は子山羊と共に伏す。/子牛は若獅子 と共に育ち/小さい子供がそれらを導く。/牛も熊も共に草をは み/その子らは共に伏し/獅子も牛もひとしく干し草を食らう。/ 乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ/幼子は蝮の巣に手を入れる。/わ たしの聖なる山においては/何ものも害を加えず、滅ぼすことも ない。水が海を覆っているように/大地は主を知る知識で満たさ れる。」

この御言葉は無くなってしまったエデンの園をまた与えてや るとの神様の約束であり、メサイヤ、すなわち救い主を送られ、そ れによって実現できるという旧約聖書の予言である。これはイエ ス・キリストによってこの世に実現されるのである。イエス・キリ ストが与える平和というのはこの世が与えるものではない(Pax Christi)

①神と人間の間を和解させ、それによって救われる。②人間と人 間が愛し合い、助け合い、仕えるようにさせた。(犠牲を伴う)③新 しく自然を管理する管理者として権限と責任を与えられる。

共に生きる社会に向け、私たちはまことの平和「シャローム」の ために次のことを考えよう。(1)正しい歴史教育は過去の過ちを くりかえさない。(2) 差別を無くし、多様性を認め尊重する。(3) Partnership(同伴者としてのケアー)。共存する世界。(4)分かち

イエス・キリストは言われた。「わたしは、平和をあなたがたに残 し、わたしの平和を与える。わたしはこれを、世が与えるように与え るのではない。心を騒がせるな。おびえるな。」(ヨハネ14:27)

< 4 > < 1 > KAKEHASHI かけはし 2013 Sep. vol.12 KAKEHASHI かけはし 2013 Sep. vol.12

【1面から続く】

報告の内容は上海に送られ、独立新聞」を通して公表されました。 また当時朝鮮人留学生たちと親しかった吉野作造の力を借りて日本国内でも公刊される予定になっていましたが、発禁処分を受けたため、残念ながらそれはかないませんでした。

東京朝鮮YMCAではその後毎年9月に被虐殺同胞追悼会が開催されるようになりました。また震災翌年には賀川豊彦や小崎弘道をはじめとする日本人クリスチャンによって中国人・朝鮮人虐殺を懺悔する祈祷会が東京YMCAにおいて行われました。今日、私たちはそれらの伝統を引き継ぎ、毎年9月1日の朝に韓国と日本のクリスチャン合同による追悼合同礼拝を開催しています。

関東大震災での虐殺事件が教訓となったこともあり、阪神大震災や東日本大震災が発生した際には同様の悲劇が繰り返されることはありませんでしたが、はたして次に大きな災害がこの国を襲ったときにはどうでしょうか。大久保や鶴橋など各地においてヘイトスピーチが公然と行われている状況を見るとき、不安を感じずにはいられません。関東大震災の惨劇を二度と繰り返さないために、私たちは過去において起きた事実をしっかりと学び、その反省に立ち、それを次の世代にも正しく伝えていかなくてはなりません。関東大震災90周年を迎え、あらためてそのことを心に刻みたいと思います。

東京の中の韓国を巡る【第4回・~高麗(こま)前編~】 オ門勇介(「かけはし)編集委員)

「東京の韓国を巡る」第4回は埼玉県日高市の高麗 (こま)駅を中心とした、高麗の郷を巡るレポート前編です。

そもそも、なぜこの片田舎が高麗 (こま)といわれ、高句麗の由来 の郷となっているのか。

それは、かつて朝鮮半島をおさめた高句麗が新羅、唐の連合との戦いに敗れたことに始まります。敗戦で国を追われた多くの高句麗人は日本に難を逃れ、日本各地に移住しました。そこで当時の大和朝廷は716年(2016年には建郡1300年!)に高麗郡(当時日本では高句麗のことを高麗(こま)と呼び、彼らを高麗人(こまびと)と呼んだ)を置き、高句麗の王族であった「若光」に郡司を命じ、日本各地に移住していた高麗人1799人がここに移住しました。彼らは当時未開拓だった高麗郡内を開拓し、この地で新たな生活を始めました。

つまり1300 年近く前に高句麗の人たちが集まり生活をはじめたという、いわば最古のコリアンタウンといえる場所なのです。

そこで東京の (正確には埼玉県ですが)韓国を巡るというテーマ のルーツという意味で今回は高麗を訪ねる事としました。

西武池袋線で池袋駅から約1時間程度(車でも都心から2時間



駅に降り立つ人々を出迎える将軍標

程度)。のんびりとした 雰囲気の小さな駅、「高 麗駅」。駅自体は郊外の どこにでもあるような 小さな駅です。

ただ、駅を出てまず 目に入るのは、大きな トーテムポールのよう なもの。

天下大将軍・地下女 将軍と男女の標が対に なった、韓国の農村部 などで見られる将軍標 といわれるものです。 高句麗では将軍標は 村の魔除けとして建て られていたそうで、その 名残として、駅のみなら ず、主要な建物の前にはこの将軍標が建てられています。 また、自動販売機には高麗郡1300 年祭というラッピングがされて います。

この日本の片田舎で遠く高句麗から来た人たちが、どのように 祖国を想いながら生活していたのか・・・

後編はその情景に想いを馳せ、その片鱗を残す「高麗駅~巾 着田~高麗郷古民家~聖天院勝楽寺~高麗神社」というお勧め ルートをたどります。



ようこそ高麗郷へという看板



トイレもどこか高句麗風?



高麗郡1300年祭を応援する自動販売機

YMCAバザー<Y・針 いフェスティバル 2013> 11月16日(土)

たくさんのご参加を お待ちしております!



| 募金にご協力ください |

窓口に持参または郵便振替で 00190-4-539049 在日本韓国 Y M C A 「東日本大震災 YMCA 救援・復興募金」

未曾有の困難に祈りをもって 立ち向かいましょう。

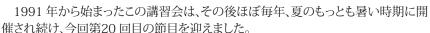
2013年6月~8月のプログラム

東京韓国YMCAの活動

池成子先生招請 民謡・カヤグム講習会開催



池成子 (チ・ソンジャ)先生をお招きしての民謡・カヤグム (伽倻琴)講習会が8月16日 (金)から18日 (月)の3日間にわたって開催されました。初心者・初級者対象のAクラス (2日間)には14名、中級者以上対象のBクラス (3日間)には15名の参加者が集まりました。





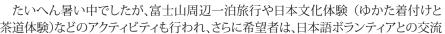
開始当初からずっとご指導くださっている池成子先生は全羅北道無形文化財にも指定されたカヤグムの大家でいらっしゃるにもかかわらず、このプログラムでは全くの初心者の方にも直接丁寧に、惜しみなく指導を行ってくださいます。先生から直接の指導を受け、また先生の体全体から発せられるソリ(歌)を身近で聴いて、参加した皆さんは大満足の表情を浮かべていらっしゃいました。いくつかの声を紹介します。

「私でもついてゆけるか心配でしたが、丁寧にご指導いただき、楽しく、素晴らしい時間を過ごすことができました。」「池成子先生の歌も演奏もすばらしく、放射されているパワーを全身で浴びさせてもらいました。先生のご指導で上達しなければウソでしょう!」「車座になってうたったり、ひいたり、すばらしい貴重な体験です。池先生の音楽が人をつなぎます。」「次回お目にかかるときには上手に弾けるよう、これからも一所懸命に練習します。先生、どうぞお元気で!」

日本語学校「夏の東京体験」実施



7月8日から27日までの20日間、毎夏恒例の日本語学校「夏の東京体験」プログラムが開催されました。今年は台湾から21名、韓国から11名、香港から1名の計33名が参加し、YMCAホテルに滞在しながら、午前中は日本語の集中授業を受け、午後は各自自由に東京のあちこちを訪ね歩き、日本語の会話力を大いに向上させました。





会や一泊ホームステイにも参加して日本語を使った国際交流を大いに楽しみました。

都内見学同行のお手伝いやホームステイ受け入れなどでご協力くださったボランティアの皆様にも、たいへん楽しく有意義な時間を過ごしていただけたようです。ホームステイを受け入れてくださったご家庭の感想を紹介します。

「最初はいろいろ心配をしましたが、とにかく二人がとても良い学生で、積極的に話をしてくれたので助かりました。また年齢の近い二人の娘たちもすごく楽しかったと言っていました。必ずもう一度会う約束を四人でしていました。」皆さんの友情が長く続くようお祈りします。

関西韓国YMCAの活動

第33回枚方サマースクール

33回目となる枚方サマースクールを7月20~21日の1泊2日で行いました。今年の会場はYMCAです。枚方に住むコリアをルーツに持つ子どもたち9人が集まり、同胞の友だちと出会い、また先輩やリーダーと楽しく過ごしました。このキャンプはリーダーや保護者の中にかつて子どものころに参加したことのある人もいるという、息の長い活動です。

最初はプラバンで名札作り。自分の名前をハングルですっと書ける子もいれば、一文字ずつ確かめながら書く子もいました。午後は真田山の屋外プールで思いっきり遊びました。夕食は激辛・中辛・普通の三つの味でモツ鍋を楽しみ、夜は楽しくゲーム大会ではじけました。2日目の朝は御幸森のコリアタウンを見学し、最

後は大阪城にあるピース大阪で「平和」について学びました。

終わりに参加したお友達の感想文をひとつ紹介します。「コリアタウンではいろいろなものが買えてうれしかった。ピース大阪は戦争についてよくわかったし、とてもかわいそうでこわいものだとわかった。」(小6)

(金弘明<キム・ホンミョン>)

日本語教室特別授業「書に親しむ」 一一うちわ作り

日本語教室では7月12日、「筆を楽しみ、書に親しみ、漢字に親しむ」機会をもってもらうための特別授業を行いました。

講師は書道家の高橋千枝子さん。多くの人に気軽に筆をとって楽しく書に親しんでもらいたいと創意工夫満載のイベントを各地で行い、長年にわたり大阪YMCAの日本語ボランティアチューターをしていらっしゃいます。

用具の名前、選び方置き方から始まって筆の持ち方、姿勢へと 説明が続き、水を使っての運筆練習後、墨汁で各自書きたい文字 の練習、清書へと進みました。それからうちわの形に合わせて切っ て貼って、裏面は模様紙を貼って出来上がり。

家族の名前を書いた人、好きな熟語を書いた人、似顔絵を描いた人、個性溢れる「マイうちわ」が1時間余で完成し、みんな満

足して大事そうに持ち帰りました。

(小林利子)

<2>